

## 第20回「議員と語り合い」報告書

総務文教常任委員会 (No.1)

開催日	平成28年 8月17日 13時30分 ~ 15時10分		
開催場所	議会棟 第1委員会室		
団体名	霧島市体育協会	参加人員	7人 (男6人:女1人)
出席議員	平原 志保、前島 広紀、新橋 実、常盤 信一、岡村 一二三、池田 守 今吉 歳晴、宮内 博		
役割分担	班 長 ( 前島 広紀 ) 副班長 ( ) 記録係 ( 平原 志保 )		
テーマ及び具体的な内容	<p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・霧島市体育協会の活動について</li> </ul> <p>【具体的な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・霧島市体育協会の活性化について</li> <li>・市民活動、スポーツの機会の充実について</li> <li>・霧島市各種事業の連携について</li> </ul>		
感想	<p>・霧島市体育協会が、現状と今後の活性化に向けた活動方針について説明をしてくださった。その一つの柱として、協会を法人化し、市の指定管理事業などに取り組みたいとのことであった。議会として、市民の健康づくり、生きがいづくりの観点から支援できるものは協力していきたいと感じた。</p>		
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し体育協会について、事前勉強が必要であった。</li> </ul>		
次回に向けての改善点			

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

**【体育協会の現状】**

・体育協会は、市民の健康づくり、生きがいづくりのために活動しており、現在会員は、成人会員が約1,000人（子供を含めると約1万人）いる。

1、体育活動の活性化については

これまでは、活動補助金を均等割りで各団体に30万円配当していたが、活動しない団体もあったため、活動割合に応じて配当することにしたら、協会活動が活性化した。

2、市民運動、スポーツ機会の充実について

これまで、各種活動を体育協会員に限定して行っていたが、市の助成金（年間1,500万円）を頂いているので、一般市民や小中学校生などスポーツをしない人たちも参加できるような活動として充実させたい。

3、市の各種事業との連携について

市が主催するさまざまな活動において、協会として全面的に協力したい。

**【各団体の活動の現状について】**

- ・31団体あり、活動を取りやめた団体はないが、それぞれに活動ムラがある。
- ・大会補助金を大会実施団体に1回5万円出している。実績56大会。

**【今後の協会の活性化について（法人化）】**

・協会を法人化し、市が行う指定管理事業などに取り組みたい。また、前売りスポーツチケットや、飲料等を販売するなどして、協会活動費を自前で捻出することで、市からの補助金を少なくするような努力をしていきたい。

◇法人化すると、財政的基盤を確立しなければならないが、おなじスポーツ団体との間で、指定管理の取り合いにならないか。

◆競合しないようなところを話し合いながらやっていく。霧島市以外の団体が指定管理を行っているところもあるので、そのあたりを検討している。人吉、大宰府、福岡などは、市の方から法人化を勧めている。

◇溝辺の上床公園などの指定管理も考えられるか。やぶ払いや樹木の剪定、法面の補強工事などもできるか。

◆協会には、1000人近い会員がおり、それぞれにいろいろな仕事のノウハウを持っているので、体協の趣旨に賛同してもらえる人がいればできる。

意見交換での主な意見等

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

◇協会は、各体育系施設の情報を共有していないのか。土、日、祝祭日等の利用に関し、小学生が使いたいが一般の人が使っていて使用できないことがある。協会が中に入って調整・コントロールできないのか。

◆同じ日に重なってしまえば、当事者同士で話し合うことになる。協会はコントロールできない(指定管理者に運営は任されているから)。

◇霧島市になってからの体育協会の内容がわかりにくい。

◆一市6町が合併してから体育協会も合併したが、PRが足らなかった。今でも旧市町での体育協会があるのではと誤解されている。

意見交換での主な意見等